鋼管布設中、管が急に巻き上げられ手が挟まる

クレーン仕様ー２

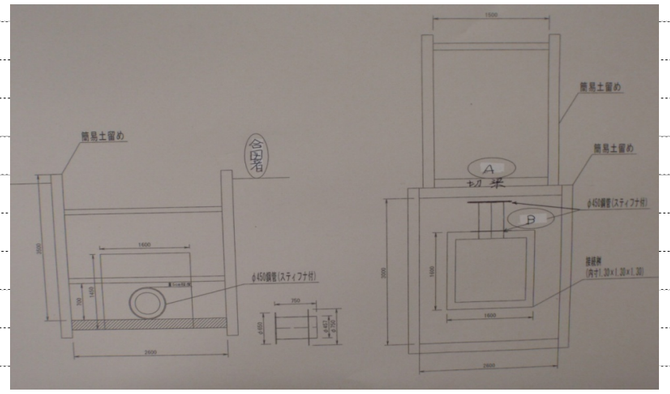
災害発生時記録	発生月日　時	12月17日（火）		工事内容	圃場整備工事（区画整理、コンクリート水路、横断管渠　一式）	
	被災者	職種	土工	経験年	7	所属	直営
	被災程度	左母指切創				

災害発生状況（写真）

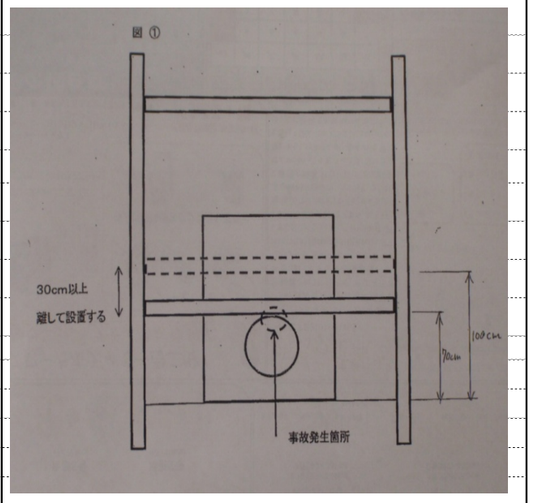
市道横断の推進工事おいて立坑内でクレーン仕様バックホーを用いて鋼管（φ450mm）の布設作業を行っていた。
立坑は深くてバックホーのオペから直接、立坑内の作業状況が目視出来なかったため地上に合図者1名配置し玉掛者と被災者の2名が立坑内で管を布設していた。 玉掛け者が管の高さを調整するために巻き上げの合図を行ったところ急に管が巻き上げられたため、管フランジに手を添えていた被災者の指が管と切梁の間に挟まれた。

初期の対策状況含む事項(写真含)

全治2週間の診断となったが骨には異常が無く創部を縫合し、2日ほど休んだ後に軽作業に就いたため休業2日災害で処理。



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	玉掛け者が周囲の確認を怠ったこと。	◎		○	合図を行うときは周囲を確認し、声掛けによる安全確認を徹底するよう教育指導した。	周囲の安全確認を怠り、被災する事例は多く発生して、合図者は自分で目視出来ない場合などは、声掛けによる安全確認を徹底することが需要です。
2	管フランジ部と切梁のクリアランスが5cmしかなく作業を行う上で物理的に危険な状態だった。			○	切梁の位置を上げ、35cmのクリアランスを確保した。	



調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)